

業況判断D I 10月~12月は3期ぶりのプラス

【2015年10月~12月期の業況判断D I】

今回調査期間における全業種総合の業況判断D Iは3期ぶりに上昇し7.3(前回調査比+15.8ポイント)とプラスに転じました。

不動産を除く5業種でD Iが前回調査比で上昇し、いずれも10ポイントを超える大幅な上昇となりました。また、製造業、小売業、サービス業、建設業の4業種でD Iがプラスとなっており、全体的な景況の回復が窺えます。

【2016年1月~3月期の予想業況判断D I】

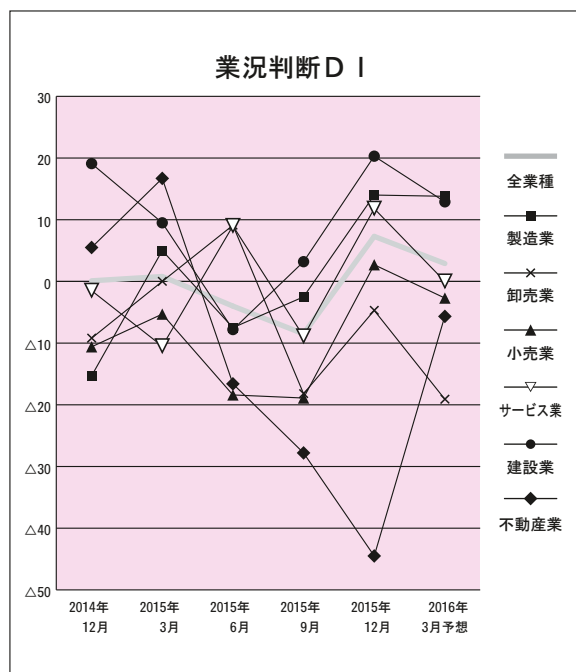
次回調査期間の業況判断D Iは全業種総合で2.9(今回調査比△4.4ポイント)と低下を予想しています。

不動産を除く5業種で低下予想となっており、特に卸売業、サービス業では10ポイント超の大幅低下予想となっています。

なお、来期D Iのプラス予想は製造業と建設業の2業種(サービス業はプラスマイナス0)となっています。

業種名	2015年 7月~9月		2015年 10月~12月		2016年 1月~3月 (見通し)
全業種総合	☁ △8.5	➡ 15.8	☁ 7.3	➡ △4.4	☁ 2.9
製造業	☁ △2.5	➡ 16.5	☁ 14.0	➡ △0.2	☁ 13.8
卸売業	☂ △18.2	➡ 13.5	☁ △4.7	➡ △14.4	☂ △19.1
小売業	☂ △18.9	➡ 21.6	☁ 2.7	➡ △5.4	☁ △2.7
サービス業	☁ △8.9	➡ 20.7	☁ 11.8	➡ △11.8	☁ 0.0
建設業	☁ 3.2	➡ 17.1	☁ 20.3	➡ △7.4	☁ 12.9
不動産業	☂ △27.8	➡ △16.7	☂ △44.5	➡ 38.9	☁ △5.6

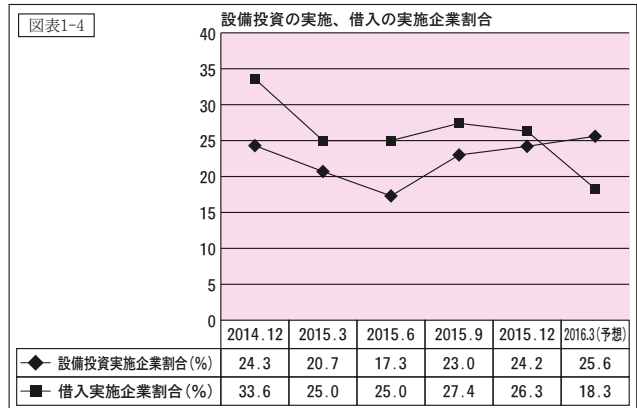
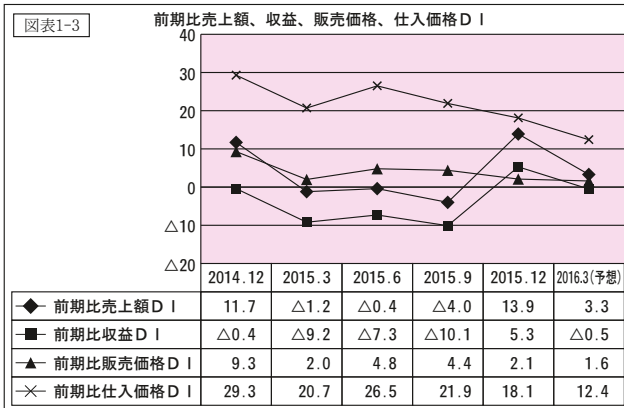
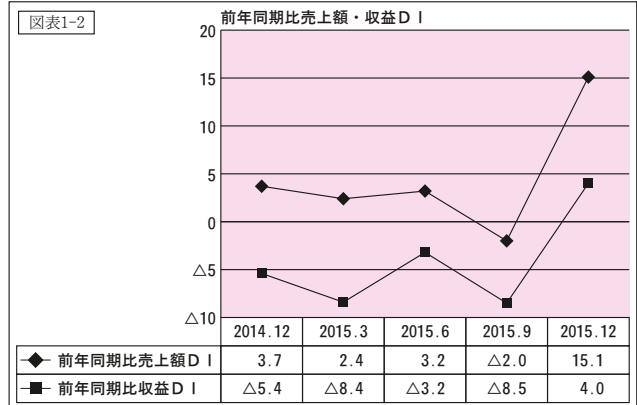
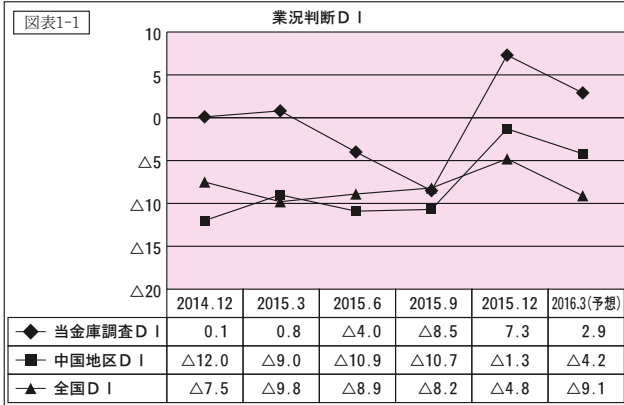
景況判断 D I
 天気図の目安
 好調 ← ☁ 30以上 ☁ 10以上30未満 ☁ 0以上10未満 ☁ △10以上 △30未満 ☁ △30未満 → 低調



おかやま信用金庫トピックス (2015年10月~12月)

10月	2日	内山下スクエアにて「第2回女性経営者セミナー」を開催
	6日	玉野ゴルフ倶楽部にて「おかやましんきん相好会」を開催
	7日	クリスタルリンクスゴルフクラブにて「おかやましんきん相好会」を開催
	14日~16日	内山下スクエアにて「オータムフェア」を開催
	20日	本店にて『第26回「おかやまPRODUCE」定例会・ミーティング』を開催
	21日	岡山カントリークラブにて「おかやましんきん相好会」を開催
	22日	本店にて「第7回後継者塾」を開催 (11月26日まで計6回開催)
	27日	内山下スクエアにて「資産運用セミナー」を開催
11月	4日	西大寺商工会議所にて「第3回経営革新塾」を開催 (4日、12日、18日の計3回開催)
	18日	大福支店にて「資産運用セミナー」を開催
	19日	本店にて「第2回創業支援セミナー」を開催
	24日	岡山県庁にて環境保全定期預金「里山里海」に係る寄付金の贈呈式を開催
	25日	本店にて『第27回「おかやまPRODUCE」定例会』を開催
12月	11日	本店にて臨時総代会を開催

全業種総合



景況 ～業況判断D I 3期ぶりの上昇でプラスに転じる～

今回調査期間の業況判断D Iは全業種総合で△8.5→7.3と前回調査比**15.8ポイントの大幅上昇**となり、D Iはプラスに転じました(図表1-1)。不動産業を除く5業種で前回調査比10ポイント超の大幅上昇となり、製造業、小売業、サービス業、建設業の4業種でD Iがプラスとなっています。また、中国地区D I(△1.3)、全国D I(△4.8)と比較して、当金庫調査エリアの景況感が高めに推移しています。

前年同期売上額D Iは15.1、同収益D Iは4.0といずれもプラスとなっており、消費税増税後の反動減からの回復基調と併せ、岡山市中心部でのイオンモール岡山オープンに関連した不動産、宿泊・サービス業等の特需があった2014年12月期と比べても景況感が高いことが窺えます(図表1-2)。

2015年9月期調査との比較である前期売上額D Iは13.9、同収益D Iは5.3、同販売価格D Iは2.1、同仕入価格D Iは18.1となっています(図表1-3)。

次回調査期間(2016年1月～3月)の業況判断D Iは7.3→2.9と**今期実績比4.4ポイントの低下予想**となっています。

設備投資を実施した企業の割合は24.2%となり、前回調査比1.2ポイントの上昇、借入を実施した企業の割合は26.3%と前回調査比1.1ポイントの低下となりました。また、設備投資を予定している企業の割合は25.6%と今期実績比1.4ポイントの上昇、借入を予定している企業の割合は18.3%と今期実績比8.0ポイントの低下となっています(図表1-4)。なお、設備状況の見通しを「やや不足」「不足」と判断している企業のうち、設備投資を行わないと回答している企業は45.0%となっており、前回調査比7.5ポイントの上昇となっています。

おかやま信用金庫からのお知らせ

「おかやましんきん職域サポート契約」制度のご案内

「おかやましんきん職域サポート契約」は、ご契約いただくと、当該事業所で働いておられる役員、従業員の皆様、当金庫の指定するローン商品を優遇金利にてご利用いただける制度です。ぜひ御社の福利厚生サービスの一環として、本制度をご活用ください。

◆契約要件

- ・当金庫営業区域内にある法人(個人事業主は不可)
- ・当金庫との取引の有無は問いません

◆利用頂ける従業員の方の要件

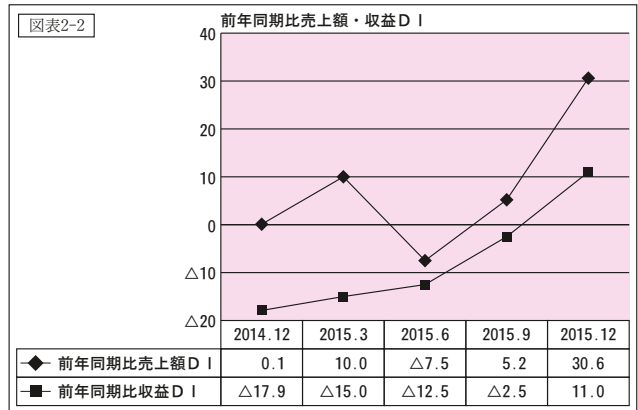
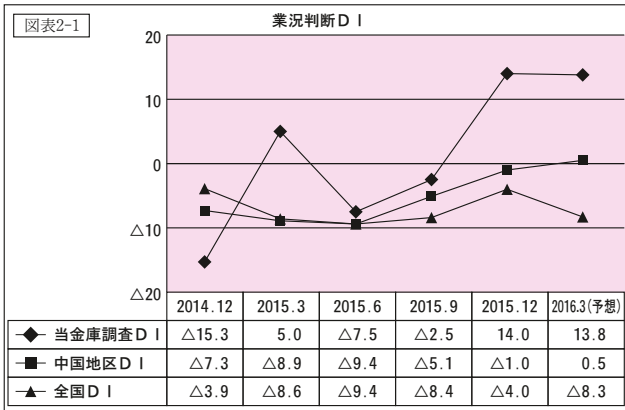
- ・契約締結事業所の代表者、役員及び従業員(非正規雇用者も含む)
- ・申込時年齢が20歳以上

◆契約期間

- ・原則1年の自動更新

対象となるローン商品等、詳しくは各支店の担当者、もしくは営業支援部(086-223-7672)までお問い合わせください。

製造業



景況 ～今期大幅上昇 来期は低下の予想～

今期の業況判断D Iは△2.5→14.0と前回調査比16.5ポイントの大幅上昇となり、3期ぶりにプラスとなりました(図表2-1)。

来期の予想業況判断D Iは14.0→13.8と0.2ポイントの低下予想となっています。

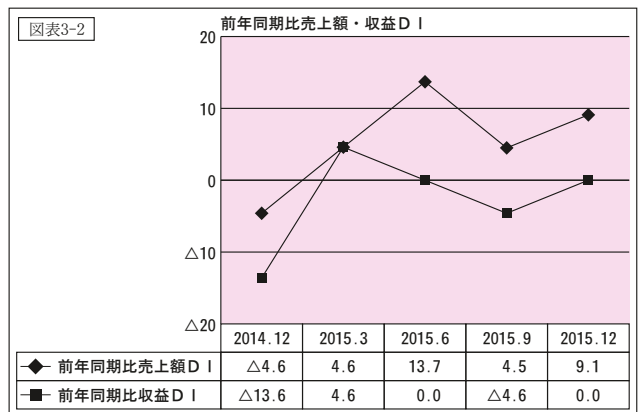
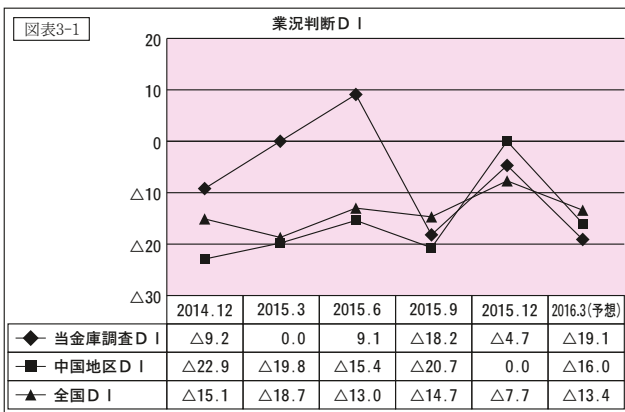
前年同期比売上額・収益D I共にプラスであり(図表2-2)、経営上の問題点における回答率も「売上の停滞・減少」が前回調査比13.0ポイント低下、「利幅の縮小」が同11.4ポイント低下していることから、製造業の経営環境は改善していることが窺われます。また、当面の重点経営施策において「人材を確保する」の回答率が大幅上昇していることから、操業度が高まっていることが窺えます。

経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	同業者間の競争の激化	41.7%	売上の停滞・減少	30.6%	利幅の縮小	19.4%
当面の重点経営施策	販路を広げる	55.6%	経費を節減する	41.7%	人材を確保する	33.3%

卸売業



景況 ～今期大幅上昇 来期は大幅低下の予想～

今期の業況判断D Iは△18.2→△4.7と前回調査比13.5ポイントの大幅上昇となりました(図表3-1)。中国地区D I (0.0)、全国D I (△7.7)と同様、例年物流が活発となる年末の卸売業特有の推移となっています。また経営上の問題点で「仕入先からの値上げ要請」の回答率が大幅に上昇していることから、卸売業は全体的な景況感の回復傾向の中にあって、生産サイドと販売サイドの間で収益確保が難しくなっていることが窺えます。

来期の予想業況判断D Iは△4.7→△19.1と14.4ポイントの大幅低下予想となっています。

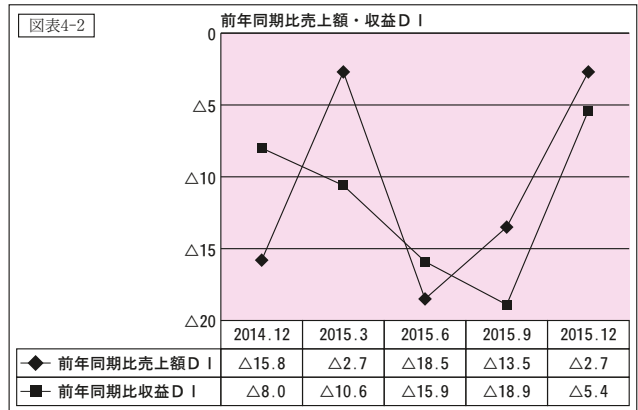
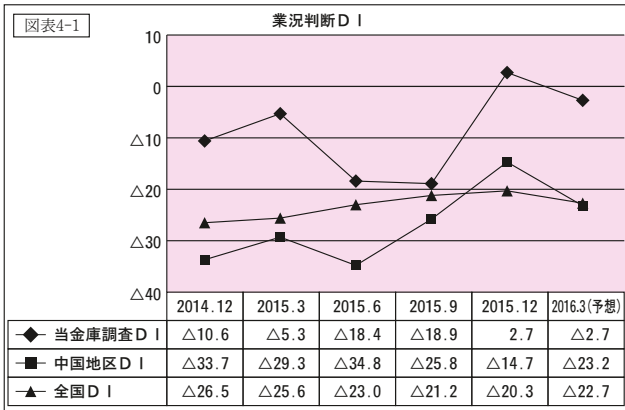
前年同期比売上額D Iはプラス、同収益D Iはプラスマイナス0となりました(図表3-2)。

経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	売上の停滞・減少	54.5%	同業者間の競争の激化	36.4%	利幅の縮小	22.7%
当面の重点経営施策	販路を広げる	59.1%	経費を節減する	54.5%	仕入先からの値上げ要請	22.7%
					新しい事業を始める	18.2%
					人材を確保する	18.2%

小 売 業



景 況 ～今期大幅上昇 来期は低下の予想～

今期の業況判断D Iは△18.9→2.7と前回調査比21.6ポイントの大幅上昇となり、2014年3月期以来のプラスとなりました（図表4-1）。2015年12月14日発表の「日銀月報」による岡山県内の個人消費は「底堅く推移している」との判断であり、その中で百貨店およびスーパー売上高は「持ち直している」とのことから、年末にかけて消費マインドが上昇したものと考えられます。

来期の予想業況判断D Iは2.7→△2.7と5.4ポイントの低下予想となっています。

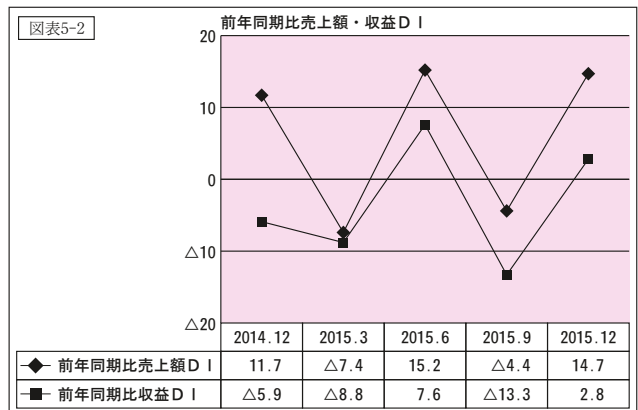
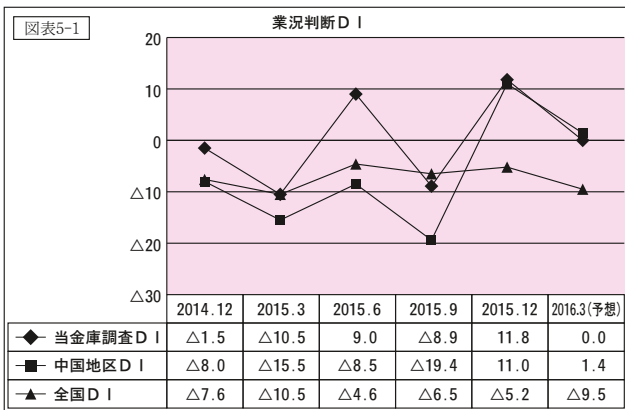
前年同期比売上額D I、収益D I共にマイナスですが、前回調査時の数値と比較すれば大幅に上昇しています（図表4-2）。

経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	売上の停滞・減少	43.2%	同業者間の競争の激化	37.8%	大型店との競争激化	24.3%
当面の重点経営施策	経費を節減する	45.9%	宣伝・広告を強化する	24.3%	販路を広げる	21.6%

サービスマ



景 況 ～今期大幅上昇 来期は大幅低下の予想～

今期の業況判断D Iは△8.9→11.8と前回調査比20.7ポイントの大幅上昇となりました（図表5-1）。

来期の予想業況判断D Iは11.8→0.0と11.8ポイントの大幅低下予想となっています。

サービス業は従業員の技術力、接客対応等が業況に直接影響しやすい業種です。人材の確保、育成が困難となれば競合他社に対する優位性が保てなくなる恐れがあることから、現在の人手不足を深刻に受け止めている先が多く存在します。

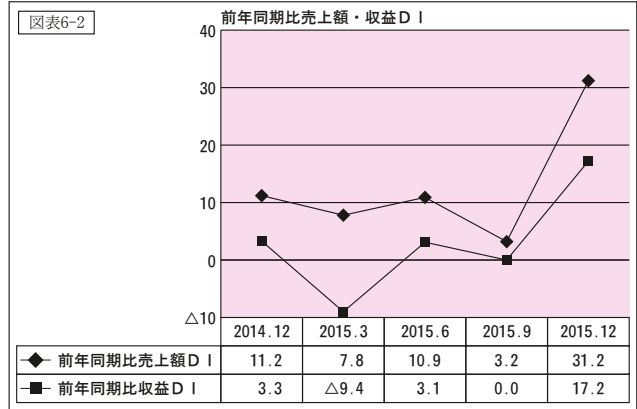
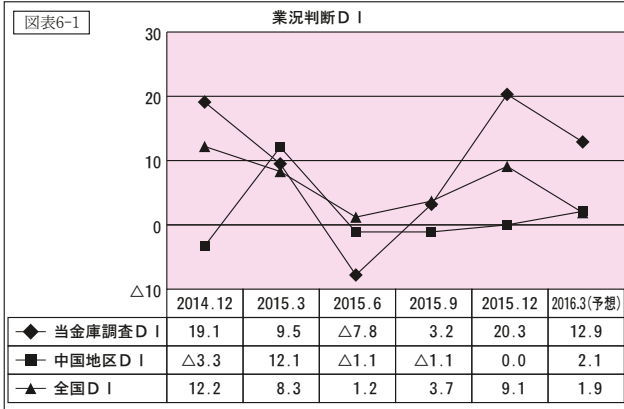
前年同期比売上額D I、収益D I共にプラスとなっており、前年同期に比べ景況感は高くなっています。（図表5-2）。

経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	売上の停滞・減少	41.2%	同業者間の競争の激化	32.4%	人手不足	23.5%
当面の重点経営施策	販路を広げる	57.4%	経費を節減する	44.1%	技術力を強化する	22.1%

建設業



景況 ～今期大幅上昇 来期は低下の予想～

今期の業況判断D Iは3.2→20.3と前回調査比17.1ポイントの大幅上昇となり2期連続の大幅上昇となりました（図表6-1）。

来期の予想業況判断D Iは20.3→12.9と7.4ポイントの低下予想となっています。

建設業の景況感は2015年春に一時的に落ち込んだものの、その後は回復しD Iも大幅なプラスとなっています。しかしながら、依然として人手不足が深刻であり、旺盛な受注対応の足かせとなっているようです。

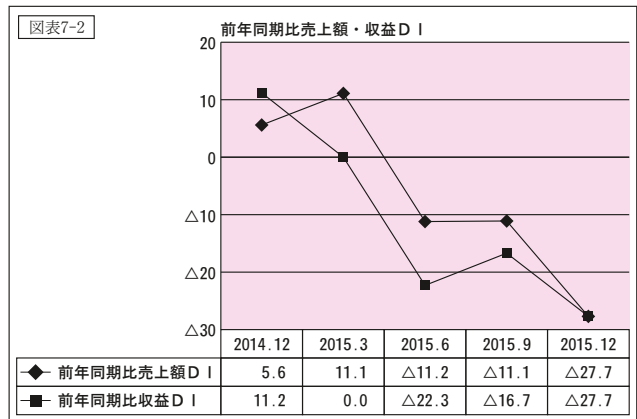
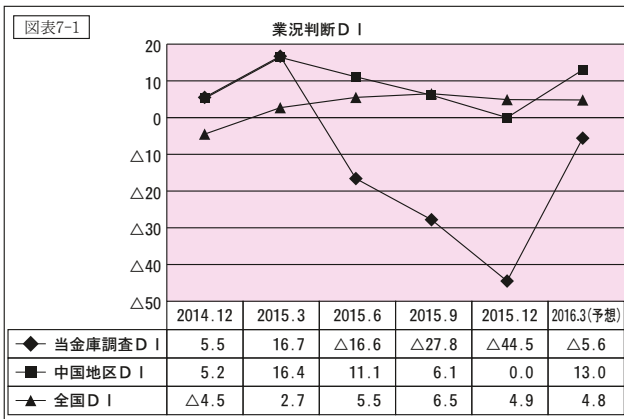
前年同期比売上額D I、収益D I共にプラスとなっており、景況感の高かった2014年12月期と比べても更に景況感は高くなっています（図表6-2）。

経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	同業者間の競争の激化	51.6%	売上の停滞・減少	37.5%	人手不足	35.9%
当面の重点経営施策	経費を節減する	48.4%	販路を広げる	46.9%	人材を確保する	35.9%

不動産業



景況 ～今期大幅低下 来期は大幅上昇の予想～

今期の業況判断D Iは△27.8→△44.5と、前回調査比16.7ポイントの大幅低下となり、3期連続の大幅低下となりました（図表7-1）。2015年12月22日発表の「岡山県不動産市場D I調査」において、宅地分譲、マンション販売の取引件数および店舗・事務所、共同住宅の空室率は大部分がマイナス（悪化）となっていることから、岡山における不動産業の景況感は他の業種と比較して非常に厳しい状況となっています。

来期の予想業況判断D Iは△44.5→△5.6と38.9ポイントの大幅上昇を予想しています。

前年同期比売上額D I、収益D I共にマイナスとなっており、厳しい状況が続いています（図表7-2）。

経営上の問題点・当面の重点経営施策

※色付きは前回より回答率が上昇した項目(10ポイント以上上昇は濃)

経営上の問題点	1		2		3	
	回答内容	回答率	回答内容	回答率	回答内容	回答率
経営上の問題点	売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化 商品物件の不足	50.0%	利幅の縮小	16.7%	大手企業との競争の激化 商品物件の高騰	11.1%
当面の重点経営施策	情報力を強化する	61.1%	販路を広げる	38.9%	宣伝・広告を強化する	27.8%

調査先企業の声

製造業

- ・主取引先の在庫調整が続いており稼働は低調。今後は取引先開拓等により受注先の分散を図る考えである。
(農機具部品製造)
- ・職人の高齢化により技術を持った人材が不足していることから、人材の育成が今後の課題となる。
(木工製品製造)
- ・県内の病院関連の大型工事がほぼ終了し、ひと段落しているが、今後駅前再開発や東京オリンピック等売上増加要因も存在するため、チャンスを逃さないように営業を行う考えである。(屋外広告看板製造・施工)
- ・海外向け鉄道車両等の受注の有無に大きく左右されるため、現在の不安定な世界情勢が気がかりである。
(プラスチック成型・加工)

卸売業

- ・主業である豆腐製造機械卸売は、取引先の減少により縮小傾向。新分野の開拓が大きな課題である。
(産業用機械卸)
- ・若者の自動車離れが進んでおりカーナビをはじめとした自動車用製品の売れ行きが芳しくない。
(自動車部品・付属品卸)
- ・1年前に畜産用の飼料を北海道の産地に販売したところ、高品質で発育が良くなったと高い評価をいただいた。今後当該飼料の取扱量が増加する見込みであり、シェアの拡大を図っていく考えである。(農業用資材卸)

小売業

- ・季節変動が大きいもののバイク販売の他、整備等で売り上げは安定している。ただ、景気回復の実感はない。
(バイク販売)
- ・仕入原価が値上がりし減益となる。今後は販促を積極的に行い、売上増加を図る考えである。(調剤薬局)

サービス業

- ・牛肉の仕入れ価格が上昇し続けており、利幅の確保が難しいため料金改定を検討中。また岡山市内中心部での時間給上昇によりアルバイトがそちらに流れており、人手不足が深刻となっている。(焼肉店)
- ・人手不足が深刻化している。人件費をはじめとした従業員確保のための支出が増加しており、新事業展開の足かせとなっている。(飲食店)
- ・消費税増税の影響を大きく受ける業種であり、平成29年の増税により売上・利益がどのように動くか気がかりである。(理容)

建設業

- ・人手不足であり下請けの確保も困難な状況である。(とび工事)
- ・元請企業の業況が良く、受注も増加傾向である。今後の人手不足が懸念材料である。(土木工事)
- ・売上が3期連続増加しており、資金繰りも安定している。業況良好なうちに人材育成、新事業・新技術の導入に努めたい。(設備工事)

不動産業

- ・商品用不動産の動きが活発化している。平成29年の消費税増税までは需要が大きくなるが、その後の反動が懸念される。(不動産仲介・売買)
- ・当社周辺はアパートやマンションが立ち並び供給過多になりつつあるため、今後過剰な投資は控える考えである。
(不動産賃貸)
- ・不動産需要は旺盛であるが、出物が少なく良物件の確保が難しい。(不動産管理・仲介)

第17回おかやましんきんビジネス交流会 フリー商談会参加募集のご案内

平成28年4月8日（金）、岡山コンベンションセンター ママカリフォーラムにて「第17回おかやましんきんビジネス交流会」を開催いたします。参加事業者様同士の“商談”と、相談機関等との“相談”を通じて、販路・仕入先の開拓や企業間連携、経営上の課題やお悩みのご活用いただける機会を提供いたします。現在、15:00からのフリー商談会への参加募集をいたしておりますので、奮ってご応募ください。

※フリー商談会とは、ブースを持たない事業者様にもご入場いただき、参加事業者様同士、自由に商談を行っていただく形式となります。

記

◆開催日時

平成28年4月8日（金）13：00～16：30

※フリー商談会参加事業者様は15:00より入場が可能となります。

◆開催場所

岡山コンベンションセンター ママカリフォーラム（岡山市北区駅元町14-1）

◆開催スケジュール

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ① 開会式 | 13：00～13：20 |
| ② 個別商談会・経営相談会 | 13：30～14：55 |
| ③ <u>フリー商談会・経営相談会</u> | <u>15：00～16：25</u> |
| ④ 閉会式 | 16：25～16：30 |

◆参加費

無料

◆参加申込

①営業部を通してお申込みいただく場合

お取引いただいている営業部店の担当者もしくは窓口にお問い合わせください。入場時に必要となる「案内状」をお渡しいたします。

②ホームページからお申込みいただく場合

下記のおかやま信用金庫ホームページ内「第17回おかやましんきんビジネス交流会」からフリー商談会参加申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、おかやましんきんビジネスクラブ（おかやま信用金庫営業支援部）宛に送付してください。

◆申込期限

平成28年4月5日（火）

以上

お問い合わせ先

おかやましんきんビジネスクラブ 事務局 おかやま信用金庫営業支援部 担当：小倉
TEL：086-223-7672 FAX：086-226-2288 e-mail：sien@okayama.shinkin.jp

<おかやま信用金庫ホームページURL> <http://www.shinkin.co.jp/okayama/>

調査の要領

- | | |
|-----------|--|
| 1) 調査時点 | 2015年12月1日～7日 |
| 2) 調査対象期間 | 2015年10月～12月（12月については感触） |
| 3) 調査対象 | 250企業（有効回答数245企業・回答率98.0%） |
| 4) 調査方法 | おかやま信用金庫各営業部店の調査員による面談での聞き取り調査 |
| 5) 分析方法 | 各質問事項で「良い」（上昇）とした企業が全体に占める構成比と、「悪い」（低下）とした企業の構成比との差（判断D I）を中心に分析
※D I＝デフュージョン・インデックスの略
一般にプラスは好調、マイナスは不調を示す（仕入価格D Iについては逆） |
| 6) その他 | 全国D Iならびに中国地区D Iは、全国の信用金庫が中小企業約16,000先を対象として調査し、信金中央金庫が取りまとめた数値を使用 |

（単位：先、%）

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
回答企業数	36	22	37	68	64	18
回答率	90.0	100.0	97.4	100.0	100.0	100.0

従業員数

（単位：先）

業種 (単位：人)	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計	構成比
0～9	17	15	30	43	48	17	170	69.4%
10～19	7	5	4	10	13	1	40	16.3%
20～29	7	0	1	5	2	0	15	6.1%
30～49	2	1	2	6	1	0	12	4.9%
50以上	3	1	0	4	0	0	8	3.3%
計	36	22	37	68	64	18	245	100.0%
構成比	14.7%	9.0%	15.1%	27.8%	26.1%	7.3%	100.0%	

資本金等

（単位：先）

業種 (単位：千円)	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計	構成比
10,000未満	16	8	20	36	34	8	122	49.8%
10,000～49,999	17	14	16	29	30	10	116	47.3%
50,000～99,999	3	0	1	2	0	0	6	2.4%
100,000以上	0	0	0	1	0	0	1	0.4%
計	36	22	37	68	64	18	245	100.0%
構成比	14.7%	9.0%	15.1%	27.8%	26.1%	7.3%	100.0%	

お客さまへのインタビュー

岡山市内で介護事業所を営んでいる事業者様にインタビューを行いました。

～事業の内容について～

法人にてデイサービスを立ち上げ、2015年6月からグループホーム2施設を運営しています。

～当面の重点施策について～

介護保険制度内の事業のみで継続していくことは大変厳しい時代を迎えており、2030年に介護サービスの利用者は飽和状態となり、その後減少に転じます。つまり長期的に見れば供給が需要を上回るようになってきます。そのときに生き残る事業者の条件は質の高さと考えます。県下一のクオリティーをめざしてサービスの質を極限まで向上させるために、介護職の地位を向上させ、従業員育成の強化や専門性の強化を図ることを一番の施策としていきたいと考えています。

～将来像～

小規模でもしっかり高齢者に関わるサービスを提供し、地域性を重視しながら事業を展開していきたいと考えています。

編集後記

今回調査にて全業種総合で業況D Iは3期ぶりに上昇し7.3とプラスに転じました。依然として厳しい状況が続く不動産業以外の5業種について、前回調査比10ポイント超の大幅上昇となり、そのうち製造業、小売業、サービス業、建設業の4業種でD Iがプラスとなりました。今回調査では当金庫営業エリア内の景況感は上昇傾向となっていますが、中国経済の減速や原油価格の下落に端を発した市場の混乱等で2016年の世界経済は年明けから波乱の様相を呈しています。今後、地元岡山にも影響が及ぶことも考えられることから、次回調査以降も景況動向に注視し、地域の事業者様に対する適切な支援を行ってまいります。



おかやま信用金庫
営業支援部

— 2016.2 —

〒700-8639 岡山市北区柳町1丁目11番21号
TEL 086 (223) 7672 FAX 086 (226) 2288
http://www.shinkin.co.jp/okayama/
E-mail:sien@okayama.shinkin.jp